

第72回 全日本学生体操競技選手権大会 要 項

主催 全日本学生体操連盟

主管 全日本学生体操連盟
兵庫県体操協会

後援 (公財) 日本体操協会
兵庫県教育委員会
尼崎市教育委員会

協賛 セノー株式会社
株式会社 ササキスポーツ
京王観光株式会社
ミズノ株式会社
株式会社 ジャクパ
アトムスポーツ
有限会社アイシス
相好株式会社 S S A事業部

1. 期間

平成30年 8月 8日(水)会場セッティング・本会場練習
9日(木)本会場練習、審判・監督会議、開会式
10日(金)2部校団体総合選手権・個人総合選手権及び種目別選手権予選
11日(土)1部校団体総合選手権・個人総合選手権及び種目別選手権予選
12日(日)1・2部校種目別選手権決勝

2. 会場

会 場 ベイコム総合体育館
所 在 地 〒660-0805
兵庫県尼崎市西長洲町1丁目4-1
電話番号 06-6489-2027

3. 参加資格

(1) (公財)日本体操協会の会員登録システムから、各大学の所在地の都道府県体操協会に平成30年度の「所属団体・選手登録」を済ませ、その後、全日本学生体操連盟に「所属団体・選手加盟(連盟登録)」を済ませた者。

(2) 全日本学生体操連盟への「選手加盟（連盟登録）」が4回以下で、全日本学生体操連盟に所属する大学（短期大学、専修学校、高等専門学校を含む）の者。

(3) 平成30年度の1部校で東日本・西日本学生体操競技選手権大会に出場した大学。

※以下、学生体操競技選手権大会は「インカレ」と記す。

なお、個人の出場枠は、平成29年度の全日本インカレ団体総合選手権の成績により決定する（以下、チーム出場大学に割り当てられた個人枠での出場選手を「チーム個人選手」と記す）。

<男子>

・チーム 12校
平成29年度全日本インカレ団体総合選手権の成績より
・チーム個人選手 42名
1～3位校 各5名
4～6位校 各4名
7～9位校 各3名
10～12位校 各2名
(含1部昇格校)

<女子>

・チーム 10校
平成29年度全日本インカレ団体総合選手権の成績より
・チーム個人選手 30名
1～3位校 各4名
4～7位校 各3名
8～10位校 各2名
(含1部昇格校)

(4) 平成30年度の2部校で東・西インカレにおいて出場資格を得たチーム及び個人。

(以下、東・西インカレにおいて個人で出場資格を得た選手を「予選通過個人選手」と記す。)

<男子>

・チーム 12校（平成30年度の東・西インカレ団体総合選手権上位各6校）
・チーム個人選手 18名（平成30年度の東・西インカレ団体総合選手権の成績より）
1～3位校 各2名 4～6位校 各1名
・予選通過個人選手 24名（本大会チーム出場大学以外の大学に所属する選手で、平成30年度の東・西インカレ個人総合選手権上位各12名）

<女子>

・チーム 8校（平成30年度の東・西インカレ団体総合選手権上位各4校）
・チーム個人選手 12名（平成30年度の東・西インカレ団体総合選手権の成績より）
1・2位校 各2名 3・4位校 各1名
・予選通過個人選手① 2名（本大会チーム出場大学以外の大学に所属する選手の平成30年度の東・西インカレ個人総合得点を比較し、その上位2名）
・予選通過個人選手② 16名（本大会チーム出場大学以外の大学に所属する選手から上記予選通過個人選手①を除いた、平成30年度の東・西インカレ個人総合選手権上位各8名）

※ チーム通過校が規定数より少なかった場合、1チームにつき予選通過個人選手(女子においては予選通過個人選手②)を5名（5枠）増やすこととする。

- ※ 本大会チーム出場大学より、上記チーム個人選手枠の返上があった場合、予選通過個人選手（女子は予選通過個人選手①）の枠を増やすこととする。チーム個人選手枠の返上は、東・西インカレにおける全日本インカレ通過者会議までとする。
- ※ 東・西インカレにおける通過者会議で決定した予選通過個人選手から大会申し込み最終締め切りまでに棄権の申し出があった場合、東・西インカレそれぞれにおける次点の選手を順次繰り上げることとする。

4. 該当校及び参加人数

(1) チーム編成について

- ・ チーム編成は各大学単位とし、各校1チームとする。
- ・ 1・2部校男女とも、1チームは最大6名（最小5名）とする。

(2) 該当校及び参加人数

- ・ 1部校男子チーム 12校（平成30年度の東・西インカレの出場を要する）
- ・ 1部校男子個人 42名（平成29年度全日本インカレ団体総合選手権の成績より）

1. 順天堂大学 5名	7. 早稲田大学 3名
2. 日本体育大学 5名	8. 日本大学 3名
3. 鹿屋体育大学 5名	9. 慶應義塾大学 3名
4. 筑波大学 4名	10. 東海大学 2名
5. 福岡大学 4名	11. 駒澤大学 2名（1部昇格校）
6. 仙台大学 4名	12. 静岡産業大学 2名（1部昇格校）
- ・ 1部校女子チーム 10校（平成30年度の東・西インカレの出場を要する）
- ・ 1部校女子個人 30名（平成29年度全日本インカレ団体総合選手権の成績より）

1. 日本体育大学 4名	6. 筑波大学 3名
2. 武庫川女子大学 4名	7. 日本女子体育大学 3名
3. 中京大学 4名	8. 東海大学 2名
4. 国士舘大学 3名	9. 順天堂大学 2名（1部昇格校）
5. 東京女子体育大学 3名	10. 大阪体育大学 2名（1部昇格校）
- ・ 2部校男子チーム 12校（平成30年度の東・西インカレ団体総合選手権上位各6校）
- ・ 2部校男子チーム個人選手 18名（平成30年度の東・西インカレ団体総合選手権成績より）

東インカレ上位6校	西インカレ上位6校
1. 国士舘大学 2名	1. 九州共立大学 2名
2. 国際武道大学 2名	2. 新潟経営大学 2名
3. 明治大学 2名	3. 東海大学九州 2名
4. 北翔大学 1名	4. 大阪体育大学 1名
5. 法政大学 1名	5. 中京大学 1名
6. 明星大学 1名	6. 富山大学 1名

- ・ 2部男子予選通過個人選手 24名（本大会チーム出場大学以外の大学所属選手より）

東インカレ上位12名

1. 永野 天空
2. 小川 音
3. 奥田 紘稀
4. 佐藤 拳八
5. 佐久間 湧雅
6. 高橋 玲陽
7. 渡邊 貴史
8. 杉原 悠飛
9. 佐々木 絃
10. 中内 篤
11. 渡會 爽
12. 樋口 隆太

西インカレ上位12名

1. 高田 満吉
2. 高田 治吉
3. 木村 僚太
4. 垣内 斗希
5. 青木 基
6. 臼井 大起
7. 板倉 聖
8. 上平 和人
9. 大関 元治
10. 村上 翔
11. 木本 大晴
12. 坂田 直樹

- ・ 2部校女子チーム 8校（平成30年度の東・西インカレ団体総合選手権上位4校）

- ・ 2部校女子チーム個人選手 11名（平成30年度の東・西インカレ団体総合選手権成績より）

東インカレ上位4校

1. 日本大学 2名
2. 慶應義塾大学 1名（1名返上）
3. 駒澤大学 1名
4. 仙台大学 1名

西インカレ上位4校

1. 静岡産業大学 2名
2. 福岡大学 2名
3. 至学館大学 1名
4. 九州共立大学 1名

- ・ 2部校女子予選通過個人選手① 3名（東・西インカレ個人総合選手権得点上位2名）

1. 内山 由綺
2. 上田 聖菜
3. 石井 ひな子（チーム上位校からの個人枠返上分1名）

- ・ 2部校女子予選通過個人選手② 16名（東・西 各8名）

東インカレ上位8名

1. 千葉 せれが
2. 網中 萌華
3. 大無田 晶
4. 長井 彩佳
5. 長沢 姫
6. 相原 咲笑
7. 飯島 菜摘
8. 藤倉 朱里

西インカレ上位8名

1. 小林 実優
2. 永田 晶子
3. 原 朝未
4. 梶原 かれん
5. 成瀬 瑠花
6. 奥中 萌々香
7. 宮崎 望
8. 川本 詩音

5. 種目別選手権 決勝 について

- (1) 種目別選手権 決勝 には、1・2部校男女とも種目別選手権予選において、各種目得点の上位12名が出場できる。なお、各種目1大学3名までとする。
- (2) 通過者会議において欠場の申し出があった場合、次点の選手を順次繰り上げて出場選手とする。これ以下の選手の上位2名をリザーブ選手とする。出場選手の欠場の最終申し出は、全種目、前半種目の本会場練習の1時間前までとし、欠場の申し出があった場合はリザーブ選手を順次繰り上げるものとする（リザーブ選手は欠場した選手の組に入る）。
- (3) 男子跳馬のみ、事前に出場意思の確認を行う。男子の参加大学は、監督会議開始までに所定の用紙（種目別選手権出場意思確認用紙）を記入し提出すること。

(4) 追加コーチ I D 申請及び配布は通過者会議で行う。

6. 補欠について

- (1) 各チームの補欠は2名までとする。但し、チーム個人選手が補欠を兼ねてもよい。
- (2) 2部校の予選通過個人選手についての補欠は認めない。

7. 選手変更・棄権について

- (1) 選手変更・棄権の申請は、監督会議開始までに所定の用紙（メンバーチェンジ・プログラム訂正用紙）で受付に提出すること。ただし、競技2日目に出場する選手が1日目の本会場練習、またはサブ会場練習時に怪我をして出場不能となった場合、大会本部への申請により監督会議終了後も変更を認める場合がある。
- (2) チーム出場の資格を有する選手は、予め I D 申請を行ったチーム5～6名、及び補欠2名の計5～8名であり、その他の選手との変更は認めない（補欠を兼ねたチーム個人選手は、チーム出場の資格を有する）。
- (3) 男女1・2部校のチーム個人選手の変更は、全日本学生体操連盟に加盟した選手であれば認める。変更の可能性のある選手は保険申請を行うこと。

8. 競技方法について

(1) 適用規則

- ・ F I G 競技規則に準ずる。

<男子>

2017年版採点規則、最新版内規及び体操競技情報最新号を適用する。

※種目別選手権予選としての跳馬は、団体総合選手権と兼ねているため1本の跳躍とする。種目別選手権決勝では、規則通り2本の跳躍とする。

<女子>

2017年版採点規則、及び体操競技情報最新号を適用する。

※種目別選手権の跳馬については、予選・決勝ともに1本の跳躍とする。

(2) 順位の決定

- ・団体総合選手権：各種目上位5名の得点の総合点で競う。
- ・団体種目別選手権：各種目上位5名の得点で競う。
- ・個人総合選手権：全種目の総合点で競う。
- ・種目別選手権：各種目の得点で競う。女子跳馬は1本の得点、男子跳馬は2本の平均点を得点とする。
 - ※ 0点は棄権ではなく得点として扱う。
 - ※ 新技申請については、8月8日（水）15時までに所定の用紙にて受付に提出すること。ただし、選手変更による新技申請の場合は、監督会議開始までに受付に提出すること。

(3) 班編成

- ・ 1部校：平成29年度の全日本インカレ団体総合選手権の成績により決定する。
- ・ 2部校：平成30年度の東・西インカレ団体総合選手権の成績により決定する。

(4) 開始種目

- ・ 団体総合選手権は、大会本部の抽選（1部校は平成29年度役員総会での抽選）により決定する。
- ・ 種目別選手権は、種目別選手権予選の成績により班編成を行う。

(5) 器具について

男女共、(公財)日本体操協会認定器具を使用する（詳細は競技部報に記載する）。

9. 表彰

< 1部校 >

- | | |
|----------------|---|
| (1) 団体総合選手権の部 | 男子優勝校・・・高松宮殿下記念杯
女子優勝校・・・高松宮妃記念杯
優勝旗、優勝杯、メダル1～3位、賞状1～8位 |
| (2) 団体種目別選手権の部 | 賞状1位 |
| (3) 個人総合選手権の部 | 楯1～3位、賞状1～8位 |
| (4) 種目別選手権の部 | メダル1～3位、賞状1～8位 |

< 2部校 >

- | | |
|----------------|--------------------|
| (1) 団体総合選手権の部 | 優勝杯、メダル1～3位、賞状1～8位 |
| (2) 団体種目別選手権の部 | 賞状1位 |
| (3) 個人総合選手権の部 | 楯1～3位、賞状1～8位 |
| (4) 種目別選手権の部 | メダル1～3位、賞状1～8位 |

※ 1・2部校とも、同点は同順位として表彰する。

10. 帯同審判員派遣について

- (1) 本大会にチーム参加する大学は下記の帯同審判員を派遣しなければならない

< 男子 >

1部校昨年度全日本インカレ1～6位校・・・2名

7位～1部昇格校、2部校・・・1名

(可能な限りで構いませんので、カテゴリー2以上の審判員の派遣をお願い致します。)

< 女子 >

1部校並びに2部校東西インカレ上位各3校・・・1名（1種審判有資格者の審判員）

※その審判に対する費用は全てその大学が負担しなければならない。また保険料について、派遣する人数分の費用（1名につき900円）を支払うこと。

- (2) 学生は帯同審判員として派遣することは出来ない。ただし、審判員が不足した場合は、本部から学生の審判員を依頼することがある。

- (3) 審判員を派遣できない大学は40,900円（保険料900円込み）をもって

大会本部に依頼すること。

- (4) (公財) 日本体操協会委員を派遣する大学は、予め本部の承認を得なければならない。
- (5) 審判員は、1・2部校とも審判実務を行わなければならない。
- (6) 各大学指導者(部長、監督、コーチ)を帯同審判員として派遣する場合は、「審判員・指導者兼任願い」を大会申し込み1次締め切りの書類と合わせて提出しなければならない。審判員となる指導者は、審判会議以降の大会期間中は所属選手の練習を指導することはできない。
- (7) 審判構成は、その全てを大会本部に一任すること。

1 1. 補助役員について

- (1) 男女共、本大会に参加する1部校は2名の補助役員を派遣しなければならない。なお、その補助役員に対する費用は全てその大学が負担しなければならない。
- (2) 補助役員を派遣できない大学は、1名につき15,900円(保険料900円込み)をもって大会本部に依頼すること。

1 2. 部別昇降について

男女とも1部最下位1校が降格し、2部最上位1校が昇格する。

また、2部2位校の得点が1部の男子11位・女子9位の得点を上回った場合、これを入れ替える。同点による部別昇降の決定(序列)については『同点順位について』を適用する。

1 3. その他

- (1) 競技区域に入れる者は全ての競技において、大会役員、審判員、補助役員、選手、補欠、チームリーダー、コーチ(1組につき、個人4名以上は2名まで、3名以下は1名)、部長、監督、主務に限る。ただし補欠は監督会議以降アリーナ内には入ることは出来ない。また部長、監督、主務は競技中の競技区域(部報参照)に入ることは出来ない。なお、音楽係のID保持者は音楽席のみで活動出来る。
個人で編成される班(個人総合・種目別選手権)でのコーチの人数は、各種目(組)につき、一大学4名以上は2名のコーチ、3名以下は1名のコーチとする。ただし、女子の一大学3名以下の組に限り、段違い平行棒コーチを1名追加できるものとする。
※ ID保持者であってもみだりに競技区域に立ち入ることを禁止する。
- (2) トレーナー申請を希望する大学は所定の申請書を、本大会申し込み1次締め切りまでに提出すること。
なお、トレーナーは指定の場所のみで活動すること。
※ トレーナーの申請人数は男女それぞれ各1名までとする。
※ メンタルトレーナーもこのトレーナーと同様の扱いとする。
- (3) 音楽の再生機器は各大学で準備すること。
- (4) セッティング・カッティングは全員参加とする。セッティングに参加した大学のみ8日の会場練習を出来るものとする。参加できない場合は所定の用紙に理由を書いて提出し、許可を得ること。

- (5) 会場の冷暖房については気温状況に応じて使用することとする。なお、使用する場合には監督会議で報告し、実費を徴収することがある。
- (6) 大会中の演技の撮影には、事前の撮影許可を必要とする。撮影を希望する大学は、所定の申請書を大会申し込み最終締め切りまでに提出すること。

14. 参加申し込みについて

(1) 参加費

1 チーム	60,000円
個人(1名につき)	12,000円
保険料(救護費込)(選手及び補欠、補助役員、帯同審判員1名につき)	900円
帯同審判委員依頼費(1名につき)	40,900円
補助役員依頼費(1名につき)	15,900円

(2) HP上にある下記の用紙に必要事項を記入の上、大会本部に郵送で申し込むこと。

- ・参加申込用紙
- ・ID申請用紙
- ・国内旅行傷害保険申請用紙
- ・撮影申請用紙
- ・プログラム用コメント用紙

(3) 締め切り期日

1次締め切り

(参加申込用紙)・・・・・・・・・・・・・・・・・・6月22日(金)18時必着

最終締め切り

(ID申請用紙、保険申請用紙、

撮影申請用紙、プログラム用コメント用紙)・・・・7月4日(水)18時必着

大会日程(案)掲載日・・・・・・・・・・・・・・・・7月上旬予定

HP 部報掲載予定日・・・・・・・・・・・・・・・・7月10日(火)

期日を過ぎたものは一切受け付けない。

(4) 参加費は、本部所定の銀行へ1次締め切りまでに必ず、大学名(男女別)で振り込むこと。

振込例：女子→ジョガクレンダイガク 男子→ダンガクレンダイガク

(5) 参加費振込先

三井住友銀行 渋谷支店 店番号654

普通口座番号 9167060

全日本学生体操競技選手権大会

担当者：木滝 舞子

(6) 締め切り期日以降の申し込みは受け付けない。締め切り期日以降の欠場は認めるが原則として参加費は返金しない。

(7) 申し込み・問い合わせ先

〒150-8050

東京都渋谷区神南1-1-1 (公財) 日本体操協会気付

全日本学生体操連盟 第72回体操競技全日本インカレ大会宛

TEL 070-6971-1233 (競技部長)

FAX 03-3481-2344

E-mail gymgakurenn@yahoo.co.jp

HP <http://gymgakurenn.noor.jp>

担当者 (男子) 平根 綾二 (女子) 松田 美帆

同点順位について

①表彰について

団体総合選手権 個人総合選手権 種目別選手権	同点と同順位として表彰する。
------------------------------	----------------

②通過及び部別昇降に関する順位付けについて

団 体 選 手 権	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全種目（男子6種目、女子4種目）のチーム得点の中で、最低点の種目得点を除いた残りの種目（男子5種目、女子3種目）の得点の合計が高いチーム。 ・ それでも同点の場合は2種目の最低得点を除く残りの合計の高いチーム。（さらに同点の際は、男子5種目、女子3種目まで最低点を除き、残りの種目の合計の高いチーム） ・ すべての種目の得点と同点の場合は、前年度の競技成績の高いチームを上位とする。
個 人 総 合 選 手 権	<ul style="list-style-type: none"> ・ 団体と同じ方法を用いて、残りの種目合計の高い者。 ・ すべての種目の得点と同点の場合は、Eスコアの合計点の高い者。それでも同点の場合はDスコアの合計点の高い者。
種 目 別 選 手 権	<ul style="list-style-type: none"> ・ Eスコアの高い者。 ・ それでも同点の場合は個人総合順位の高い者。

※この方法は、学生連盟が主催とする大会のみ適用とする。